

## ♣高齢归国者之家♣

### 《面向高龄归国者的日语学习班④》

- ◆负责运营的志愿者团体：NPO 法人  
ナルク信州まつもとだいら
- ◆学习班名称：“阳光下的同好会”

这次要为大家介绍的学习班 — “阳光下的同好会”，因其独特的活动方式而受到人们的关注。前一阵子，NHK 曾播放过有关它的报道，想必你们当中一定有人看过。

长野县松本市是一个自然环境优越的地区。因而有一些退休后的人，为了能够生活在优美的大自然里，特地从别的县搬到松本市来住。这些人所付出的辛苦，即使无法跟归国者相比，但是离开多年来工作生活、早已习惯了的土地，重新适应、投入到一个新的环境中去，也需要很大的努力。然而，二者之间想必一定存在着某些共通之处。

位于县中部的松本市，从两年前开始就开展了当地居民与归国者们的交流，他们共同印证着同生共存的理念，齐心协力地通过开展各种以户外活动为中心的集体活动，增进着彼此间的交流。

对于已迎来高龄期的归国者来说，走山路、种菜种米、打木锤高尔夫等各项户外活动，既可以增强体力，同时也能促使自身去寻求、感悟生活的意义。因为这些活动能让彼此间超越语言的障碍，共同拥有一段经历和一份喜悦。于是，那种因此而生的信赖和友情便越加深厚。这些活动还能够帮助他们提高自身的沟通和交流能力。很多人认为，应该先去日语教室学习日语，等对日语能力有了自信以后，才



讲解木锤高尔夫的规则

因为有翻译，所以可以自由提问，学员因此熟悉了木锤高尔夫的日文用语及指令。

## ♣高齢帰国者の集いの場♣

### 《高齢帰国者向け日本語教室紹介④》

- ◆運営ボランティア団体：N P O  
法人 ナルク信州まつもとだいら
- ◆教室名：「陽だまりの集い」

長野県は自然に恵まれた地域で、全国から退職後に豊かな自然環境を求めて引っ越して来る人がいます。帰国者の日本社会適応のような困難はないにしろ、日本人も長年住み慣れた地域を離れ、新しい環境に適応し地元の住民と仲良く暮らしていくにはそれなりの努力を要します。そういう点では帰国者と共通する部分もあるのではないかと思われます。

県中部に位置する松本市では2年ほど前からこのような人たちを含む住民と帰国者住民が共に生きる証として、アウトドア活動を中心協働作業に取り組んで交流しています。

今回紹介する「陽だまりの集い」はユニークな取り組みが注目され、NHKの報道番組でも紹介されました。きっとご覧になった方もいるでしょう。

里山ウォーキング、野菜・米作り、マレットゴルフ等のアウトドア活動は、高齢期を迎えた帰国者にとって、体力づくりであると同時に生きがいづくりにもなっています。互いに言葉の壁を乗り越え、体験や喜びを共有でき、お互いの間に信頼と絆が生まれるからです。また、コミュニケーション力の面でも良い効果が期待できます。「日本語教室で学んで自信がついたら日本人と交際できるようになる」と考えられがちですが、ここでは逆の発想で、先ず交流することが大切だと考えています。不自由な日本語力でもお互いに歩み寄りながら対話を「行い友達にな

可能加入到日本人中间去与之交流交往。然而“阳光下的同好会”，却有着相反的构思，“首先进行交流”被放在了重要的位置。即使日语表达不清楚也没关系，大家在相互理解、容让的基础上实现对话，结成朋友。因为结成了朋友，所以会更渴望进一步交流和沟通，学习日语的意欲和信心也会应时而生。这样，也就可能积极地参与到各种活动中去了。

“阳光下的同好会”为了这样的归国者还在南部公民馆（从南松本站走5分钟）开办了一个日语教室。有的时候学习木锤高尔夫的规则，讲师是木锤高尔夫的教练；也有的时候以日本菜的烹饪方法为教材来进行学习。归国者T女士（70岁）说，“与其用教材，不如跟着大家边干点儿什么边学习，这样就记得住了。”

最近，由于居民们意欲学习中文，因而“中文教室”也开办了起来。归国者和其他居民交叉着坐在椅子上，一对一地进行发音指导。回到日本以后，作为学生一直以来都在学习日语的归国者，如今当上了汉语老师，指导他人学习。教室开办人说，“学的中文老也记不住，可是通过学习可以体验孤儿们的处境，使我更加了解了他们的心情。”

根据我们听到的最新消息，几名归国者为参加NHK歌喉自诩大会预选赛，正在大练苦练“化为千风”这首歌呢。当他们拿到这一期《天天好日》时，想必已经实现了正式出场的愿望了吧。

您不觉得今后我们无法不去关心不断创造独特活动风格的“阳光下的同好会”吗？(M)



走山路

大家一致公认归国者的腿脚最硬朗。

#### 联络方式：

电话：0263-34-7744

时间：每月3~4次（不定期）

负责人：守安、威象

る。友達になれたからこそ、もっとコミュニケーションしたくて日本語習得への意欲や自信が湧く。自信があるからより一層積極的に活動に参加できるのです。

「陽だまりの集い」では、そんな帰国者のために南部公民館（南松本駅から徒歩5分）を使って日本語教室も開催していますが、ある日の学習内容はマレットゴルフのルールで、先生はマレットゴルフの指導者です。またある時は、日本料理の作り方が教材に使われます。帰国者のTさん（70才）は「教科書を使うよりも、こうやってみんなと一緒に何かをしながらのほうが覚えられるのよ。」といいます。

最近は住民の皆さんが中国語を学ぼうと「中国語教室」もスタートしました。双方が交互に席に着き、マンツーマンでの発音指導です。帰国後は日本語を学ぶ一方だった帰国者が今度は先生役になって中国語を役立てます。主催者は「中国語は難しくてなかなか身に付きませんが、こうやって相手の立場を経験してみることで、もっと帰国者の思いが分かります。」といいます。

最新情報では、NHK「のど自慢大会」の予選参加に向けて帰国者選抜メンバーが「千の風になって」を猛特訓中と聞きました。この記事が届く頃、出場が叶っているでしょうか。

みなさんは、ユニークな活動を続ける「陽だまりの集い」から今後も目が離せないとおもいませんか。(M)

#### 問い合わせ先

電話：0263-34-7744

時間：月3~4回（不定期）

担当：守安 威象